

みずほCustomer Desk Report 2022/06/23号 (As of 2022/06/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.50
TKY 9:00AM	136.32	1.0531	143.50	GBP/USD	1.2262
SYD-NY High	136.71	1.0606	144.24	AUD/USD	0.6960
SYD-NY Low	135.68	1.0470	142.70		
NY 5:00 PM	136.21	1.0569	143.92		

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	30,483.13	▲ 47.12	日本2年債	▲0.0800%
NASDAQ	11,053.08	▲ 16.22	日本10年債	0.2400%
S&P	3,759.89	▲ 4.90	米国2年債	3.0602%
日経平均	26,149.55	▲ 96.76	米国5年債	3.2327%
TOPIX	1,852.65	▲ 3.55	米国10年債	3.1590%
ソコ日経先物	26,260.00	▲ 240.00	独10年債	1.6175%
ロンドンFT	7,089.22	▲ 62.83	英10年債	2.4915%
DAX	13,144.28	▲ 148.12	豪10年債	4.0170%
ハンセン指数	21,008.34	▲ 551.25	USDJPY 1M Vol	13.41%
上海総合	3,267.20	▲ 39.52	USDJPY 3M Vol	12.74%
NY金	1,838.40	▲ 0.40	USDJPY 6M Vol	12.17%
WTI	106.19	▲ 3.33	USDJPY 1M 25RR	▲1.10%
CRB指数	304.65	▲ 4.35	EURJPY 3M Vol	13.03%
ドルインデックス	104.20	▲ 0.24	EURJPY 6M Vol	12.65%

東京	オセアニア時間に一時136.71と約24年ぶりの高値を付けた達成感から利益確定の売りが先行し、東京時間ドル円は136.32レベルでオープン。仲値にかけ小幅に持ち直す場面こそあるも仲値後に売り再開。木原官房副長官の「為替相場の急速な変動は望ましくない」との発言等もあり上値を重くし136.05まで下落。売り一巡後、海外時間のパウエルFRB議長議会証言を控え136円付近での押し目買いも確りで、136.42レベルまで反発し海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は136.42レベルでオープンし、米長期金利の低下を眺めてじりドル安・円高が進んだ。136円を割れて一時135.81円まで下げたが、その後、東京時間でも観測された押し目買いが優勢となり、反発し、結局136.04レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、本日のパウエル議長の上院銀行委員会での半期金融政策報告を控え、株式市場がリセッション懸念から下落する動きに円買いが強まり、また調整から米金利が低下する動きを受けたドル売りに135.81まで下落し、136.04レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ135.68まで下落する。9時半から開始された議会証言では、「米経済が非常に力強く引き締め策の対応可能」との見方が示され、下落していた株式市場が切り直す展開にドル売りが優勢となり、ドル円は上値を重くし、その後も「リセッションの可能性もあるが意図していない」等、慎重な姿勢が示されるものの、「リセッションの可能性が現在のところ高まっていない。成長は減速している」等の発言があり、株式市場が横ばい付近で推移する動きにドル売りが継続する一方、円も売られ、ドル円は135.90付近での推移が続く。午後は、株式市場が上昇する動きに円売りが強まり、一時136.30まで戻し、136.21レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、ユーロ円の下落に1.0470まで下落するが、その後はドル売りにじりじりと値を戻し1.0513レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続し1.0606まで戻すが1.06台では売り意欲もあり、午後はじり安で推移し1.0569レベルでクロスした。(NY井上)

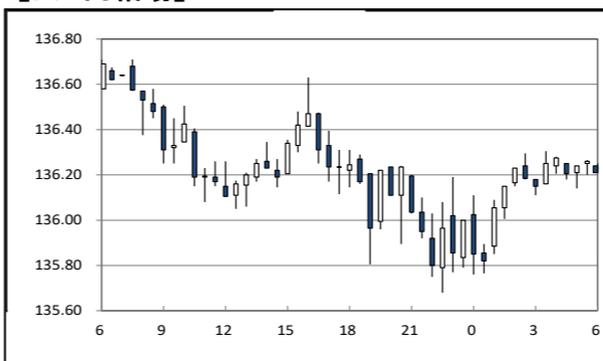
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月22日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.7%/9.1%	0.7%/9.1%
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	6月 -23.6	-20.5
	23:00	米 パウエルFRB議長	軟着陸「非常に困難」、景気後退の「可能性」はある	

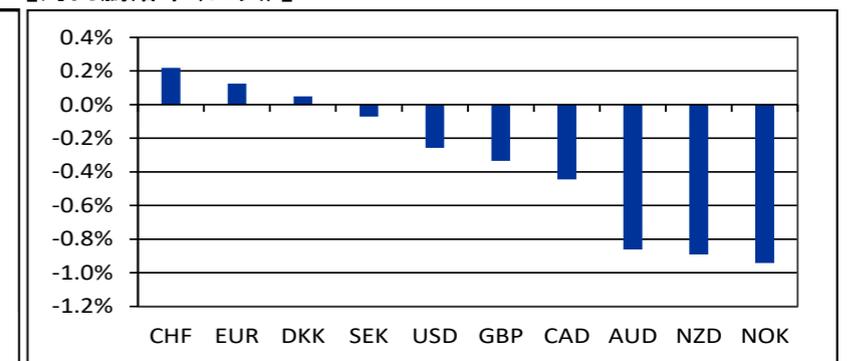
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月23日	21:30	米 新規失業保険申請件数	18-Jun 226K	229K
6月23日	23:00	米 パウエルFRB議長 下院議会証言	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.60-137.20	1.0400-1.0640	142.50-144.40

【マーケット・インプレッション】

朝方に136.71と高値を更新した後、東京時間のドル円は136.32レベルでオープン。仲値にかけてドルは買われたものの、株式市場が下落に転じる中、上昇一服。木原官房副長官の円安牽制発言も上値を重くした。パウエルFRB議長の議会証言を控えた押し目買いによって反発し、海外へ。パウエル議長はソフトランディングは難しいとしながらも「インフレ2%目標への回帰にFedは強力にコミットする」、「米経済は非常に力強く、引き締め策への対応は可能」とややタカ派の証言となったことでドル円は上昇基調を取り戻し、136.21レベルでクロスした。本日のドル円は底堅い推移を予想する。昨日のパウエル議長の発言は先日のFOMCからさほど目新しさはないものの、ハードランディングは辞さない姿勢を改めて示した。その他のFed高官もパウエル議長と同様にタカ派発言を繰り返しており、ドルが買われやすい地合いが続く。本日もパウエル議長の下院での議会証言が行われるが、特段の反応はなさそう。FOMCでのパウエル議長の発言を受け、明日のミシガン大学消費者マインドの確報に市場の注目が集まっている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・小林